

みずほCustomer Desk Report 2022/06/28 号 (As of 2022/06/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	134.67 AUD/USD
TKY 9:00AM	135.05	1.0568	142.71	1.2288	0.6944
SYD-NY High	135.55	1.0615	143.47	1.2330	0.6957
SYD-NY Low	134.53	1.0550	142.06	1.2239	0.6906
NY 5:00 PM	135.48	1.0583	143.33	1.2265	0.6925

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,438.26	▲ 62.42	日本2年債	▲0.0700%	0.0100%
NASDAQ	11,524.55	▲ 83.07	日本10年債	0.2300%	0.0100%
S&P	3,900.11	▲ 11.63	米国2年債	3.1308%	0.0686%
日経平均	26,871.27	379.30	米国5年債	3.2580%	0.0722%
TOPIX	1,887.42	20.70	米国10年債	3.2007%	0.0640%
シカゴ日経先物	26,755.00	▲ 175.00	独10年債	1.5395%	0.1040%
ロンドンFT	7,258.32	49.51	英10年債	2.3895%	0.0885%
DAX	13,186.07	67.94	豪10年債	3.8320%	0.1270%
ハンセン指数	22,229.52	510.46	USDJPY 1M Vol	12.26%	▲0.28%
上海総合	3,379.19	29.44	USDJPY 3M Vol	12.02%	▲0.51%
NY金	1,824.80	▲ 5.50	USDJPY 6M Vol	11.52%	▲0.36%
WTI	109.57	1.95	USDJPY 1M 25RR	▲1.59%	Yen Call Over
CRB指数	298.78	0.23	EURJPY 3M Vol	12.31%	▲0.57%
ドルインデックス	103.94	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	11.96%	▲0.50%

東京	東京時間のドル円は135.05レベルでオープン。序盤から需給主導でドル売り円買い地合いとなり、仲値通過後に134.53をつけた。その後、新規材料ない中、株式市場の底堅さを横目に134.90近辺まで反発。押し戻される場面もあったが、終盤にかけて135円台を回復し、135.08レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は135.08レベルでオープンし、リスク選好ムードの継続やドルの押し目買いを背景に上昇。欧州株および米株先物市場が堅調に推移するなか、東京時間で135円を割れるとドルの押し目買いが優勢となり、すぐに135円台を戻した。その後、特段材料に欠けるなか、約10銭の値幅で揉み合いが進んだ、正午前にドル買いの動きが強まり東京時間高値の135.11円を上抜くと、一時135.49円まで上昇幅を拡大。135.44レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は135円台前半でスタート。アジア時間では株式市場や原油先物の軟調に推移する中、上値重い推移となり、東京仲値にかけてはクロス円の売りが加速したこともあいまって一時134.53まで下落。欧州時間では株式市場が持ち直し、ドル円も買い優勢となり、アジア時間の下げを全て取り戻す。早朝には米金利上昇につれて135.49まで上昇後、135.44でNYオープン。朝方はオープン前の流れを引き継ぎ、高値を135.55まで更新。その後、米5月の耐久財受注件数や中古住宅販売仮契約件数が予想以上に上昇していたが、ドル円は特段反応せず、3.2%台に乗せていた米長期金利が3.15%付近まで低下したことを意識した値動きとなり、135.03まで下押し。午後はじり高推移。米短期債・中期債の入札後に米金利が再び上昇すると、ドルも徐々に買い戻され、終盤には135.48まで戻し、そのまま135.48レベルでクロス。一方、海外市場のユーロは1.05台半ばでのレンジトレードでスタート。欧州勢参入後は欧州株の堅調推移を受けて、1.0580近辺まで買われ、1.0567レベルでNYオープン。朝方は米金利低下でドル売りが進んだほか、ポルトガルのシントラで開始されたECBの年次フォーラムからのヘッドラインを警戒したポジション調整の動きもあいまって一時1.0615まで上昇。午後は米金利の持ち直しでドルが買い戻され、1.0580近辺まで反落。結局、1.0583レベルでNYクロス。

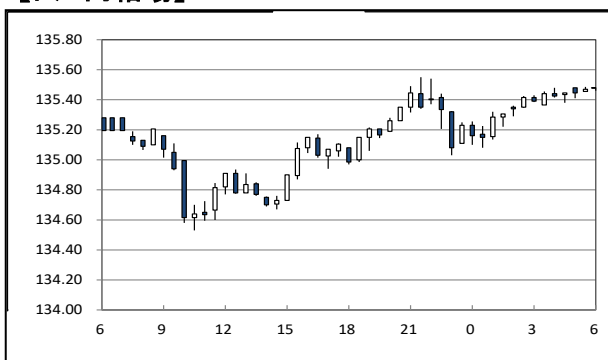
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月27日	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	5月 0.7%	0.1%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	5月 0.7%	0.3%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	5月 0.7%	-4.0%

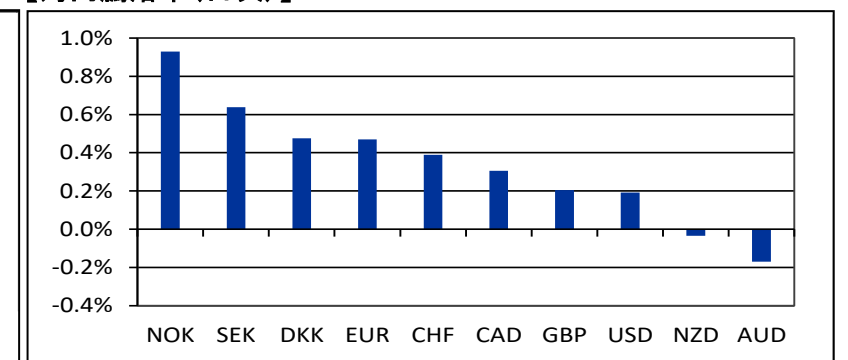
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月28日	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	5月 2.1%	2.2%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	6月 100	106.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.50-136.50	1.0500-1.0650	142.50-144.00

【マーケットインプレッション】

昨晚の海外市場では、ドル円は上昇した。欧州時間に入ると米長期金利の上昇などを受けてドル円は反発し135円付近を回復した。更に米・5月耐久財受注や米・5月中古住宅販売が予想比を上回る結果となり135円台半ば付近まで上値を更新した。一方で、米・6月ダラス連銀製造業活動指数は予想外のマイナスとなりドル円は下押しする場面も見られたが、米金利の上昇を受け反応は限定的となった。

本日のドル円相場は底堅い推移を予想している。昨晚の米金利の上昇や米指標の結果を受けたドル買い円売りが継続すると考えている。但し、先週末のインフレ指標の減速を受けてインフレの高進が一服しているとの見方もありドル円の上値は抑えられるのではないかと。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・多川